

## ハンズオンおよびチュートリアルセッション

会場：11号館 108 教室（H5 のみ 8号館 834）

※大会参加費が必要（有料）です

※要事前申込（空席がある場合は当日可）

申込先等は、各項の文末参照

ハンズオン…H

チュートリアル…T

### 【20日（土）開催】

H1 9：00～10：40「QGISハンズオン」

T2 14：00～18：00

「mapillary&OpenStreetMapによるマイクロマッピング」

### 【21日（日）開催】

H3 9：00～11：00「わかりやすい地図の作り方」

H4 12：20～14：00「SfM写真測量によるマッピング」

H5 14：20～16：00「Pythonを使って作業の効率化を図ろう！」

### 【20日（土）開催】

#### ◆H1 QGISハンズオン◆

オーガナイザー：大伴真吾

（朝日航洋株式会社/FOSS4G分科会）

20日（土）9：00～10：40 / 11号館 108

2018年（平成30年）6月28日から7月8日頃にかけて、西日本を中心に北海道や中部地方など全国的に広い範囲で記録された台風7号および梅雨前線等の影響による集中豪雨（平成30年7月豪雨）は、広範囲で記録的な豪雨となり、200人以上の死者・行方不明者を出す巨大災害となった。地理情報システム学会では防災GIS分科会が中心となり、災害支援活動を行ったが、同時に複数の地域で同様の水害・土砂災害が発生するという未曾有の災害に課題は多く残った。今後発生が懸念される南海トラフ巨大地震での災害対応にも、大きな教訓を残すであろう平成30年7月豪雨の災害対応の課題と解決策について、支援活動関係者を中心に議論を行う。

世界的に普及しているオープンソースデスクトップGIS QGISの基本的な操作を中心としたハンズオンを行います。これからGISを始める方、この機会にQGISを使ってみたい方、あるいは、QGISの

可能性を探りたい方にお薦めです。

使用する QGIS のバージョンは 3.2 を予定しておりますが、当日までに新しい製品がリリースされていればそれを使用いたします。

なお、このハンズオン時の説明は Windows 版 QGIS を使用いたします。その他の OS の QGIS のサポートができない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

参加を希望される方は、テキストを準備する都合で、事前申込を行った上で、当日は QGIS をインストールしたパーソナルコンピュータの持参をお願いいたします。会場の席に空きがある場合には、飛び入り参加も歓迎いたします。

申込およびお問合せ先： shingo-ootomo@aeroasahi.co.jp

## ◆ T2 mapillary & OpenStreetMap によるマイクロマッピング ◆

オーガナイザー：西村雄一郎

(奈良女子大学/OSGeo 財団日本支部/OSMFJ)

20 日 (土) 14:00~18:00 / 11 号館 108

オープンな地理情報に対する社会的な必要性が高まる中、それらを市民が自ら作成する VGI (ボランティアな地理情報) への注目が高まっている。この企画では、前回の GIS 学会のハンズオンセッション行った「OpenStreetMap マッピングパーティ in 宮城大学」の続編として、オープンなストリートビュー作成プロジェクトである mapillary と VGI の世界的・中核的プロジェクトのひとつである OpenStreetMap を連携させ、双方のデータ作成・編集を行うハンズオンを実施する。特に、「マイクロマッピング」という一般の地図では描かれることの少ないミクروسケールの地物の地理情報の作成を目指したマッピングパーティを実施し、障がい者の移動にとって必要な情報の収集を行う。

申込およびお問合せ先： nissy\_yu@cc.nara-wu.ac.jp

### 【21 日 (日) 開催】

## ◆ H3 わかりやすい地図の作り方 ◆

オーガナイザー：桐村喬 (若手分科会/教育委員会)

21 日 (日) 9:00~11:00 / 11 号館 108

誰でも手軽に GIS を使えるようになり、様々な分野の研究論文で

GISで作った地図が使われています。また、論文だけでなく、日常生活の様々な場面でもGISで作った地図を見る機会が増えています。GISの操作手順を間違わなければ地図が作れますが、どんなふうに表現すれば地理情報を適切に表現できて、意図を正確に伝えることができるのか、といった技術や知識は、地図に関する専門的な教育を受けないとなかなか身に付けることはできません。

このセッションでは、GISを使う上で陥りがちなよくある失敗に注目しながら、わかりやすく、適切な地図の作り方について紹介し、地図表現に関する基礎知識を身に付けることを目標にします。取り扱う内容は、地域・用途に応じた投影法の選び方や階級区分図での色・ハッチの使い方、カルトグラムの活用法などで、これらに留意しながら実際にGISソフトで地図を作っていきます。なお、利用するGISソフトはArcGISまたはQGISです(どちらでも参加できます)。

申込先：<https://goo.gl/forms/cpQVEQA3MvdtKgb83>

お問合せ先：[t-kirimura@kogakkan-u.ac.jp](mailto:t-kirimura@kogakkan-u.ac.jp)

必要なもの：

ArcGIS (ArcMap) または QGIS がインストールされた PC

※ESRI ジャパン株式会社のご協力により、ArcGISについては、講習会用の一時的な無料ライセンスもご用意できます。

※電源、インターネット接続については会場で用意します。

定員： 20名

※GISの基本操作を習得済みの方(非会員の方も参加可能)

#### ◆H4 SfM 写真測量によるマッピング◆

オーガナイザー：内山庄一郎 (防災科学技術研究所)

21日(日) 12:20~14:00 / 11号館 108

SfM (Structure from Motion) 写真測量とは複数の写真から被写体の形状を復元する技術です。特に、無人航空機(ドローン)による撮影と調和的です。SfM写真測量により、オルソモザイク画像(写真地図)やDSM(数値表面モデル)を作成することができます。ハンズオンでは、技術の概要と使いこなすコツを解説し、写真の撮影からオルソモザイク画像の出力までの最も基礎的な一連の作業を行います。

申込およびお問合せ先：[uchiyama@bosai.go.jp](mailto:uchiyama@bosai.go.jp)

当日持参するもの： ノートPC (Win/mac) と電源アダプタ

◆ H5 Pythonを使って作業の効率化を図ろう! ◆

オーガナイザー：土田雅代（ESRI ジャパン株式会社）

講師：福井智康、丸山誠（ESRI ジャパン株式会社）

21日（日）14：20～16：00 / 8号館 834

Pythonを利用することで、ArcGISのGUI上で行っている反復的な作業をプログラムで自動化することができます。Pythonを使用してArcGISでどんなことができるか知りたい方、また、pythonのアドインを作成してみませんか？

当日は、ArcGISがインストールされた首都大学東京のPC教室を利用します。筆記用具のみお持ちください。

申込およびお問合せ先：[masayo\\_tsuchida@esrij.com](mailto:masayo_tsuchida@esrij.com)